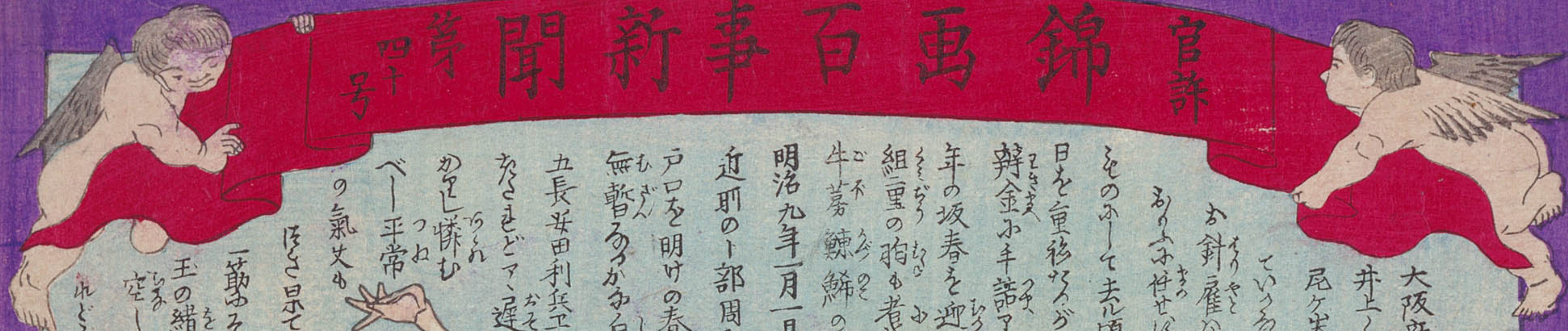


官許 錦画百事新聞 第四十号



大阪府身二大區七小區大室寺町四ノ
井上くに三二年六月ある女あて近在
尾ヶ実可彦とあが早く此地へありつゝ

か針雇ふと洗せやうあると女の細千
ありふせせは基を負けぬ之氣
このふて去頃頼母子を組たて

日を重ねて破請とあり所くの
辨金ふ手詰りて既不明治八
年の坂春を迎へん九折ありは辛若

組重の胎も黄締め之分別の底吹さ
牛蒡鱗鱗のかげぐ重なる漆まてて

明治九年一月一日物音ふたあえは
近町のト部周助といふ人其家の

戸口を明けの春見をばかくに
無暫あがみ自害の果あり

五長安田利兵衛もこそ
あさまだマ遅
か足憐む
べー平常
の氣丈も

ほご目て女心の
一筋あその
玉の緒水

空しくせし実不浅早敢ある
れどト合まら死し事情あり

大阪府身二大區七小區大室寺町四ノ

錦画百事新聞
第四十号

錦画百事新聞
第四十号

